

秘密保全法 に反対

する

愛知の会

5周年総会

+ 記念講演

青木



理

(講師プロフィール)

ジャーナリスト、ノンフィクション作家。共同通信社入社後、社会部、外信部、ソウル特派員などを経て、2006年に退社しフリーに。テレビ・ラジオのコメンテーターも務める。著書に『日本の公安警察』（講談社現代新書）、『抵抗の拠点から朝日新聞「慰安婦」報道の核心』（講談社）、『ルポ国家権力』（トランスビュー）、『日本会議の正体』（平凡社新書）など多数。

2017.3.25(土)

参加費
800円

総会 13時15分～14時 (12時45分開場)

対談による記念講演 14時15分～16時30分

「監視社会のゆくえ

～共謀罪が日本社会にもたらすもの～

話し手：青木理さん (ジャーナリスト)

聞き手：浜島将周さん (弁護士・当会事務局長)

場所 中区役所ホール

(名古屋市中区栄四丁目1番8号)

(地下鉄東山線・名城線「栄」駅12番出口から東へ1分)

秘密保全法に反対する愛知の会

(TEL)052-910-7721

(Eメール)no_himitsu@yahoo.co.jp

(ブログ)http://nohimityu.exblog.jp/

(FBページ)https://www.facebook.com/nohimityu/

秘密保護法制定から3年。その運用の検証もできない中、政府は、盗聴法の拡大、マイナンバー制度など、市民を監視するツールを手に入れ、さらに共謀罪の制定も目指しています。仙台自衛隊情報保全隊事件、岐阜大垣署事件、大分府署事件など、国家が特定の個人や団体を監視している実態もあります。監視社会と、市民が萎縮しモノが言えなくなる社会の進行について、知り、考え、そして行動するための5周年総会。どなたでもご参加いただけます。申込み不要。奮ってご参加ください!